

これまで全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関に  
心不全、急性冠症候群、心房細動、心筋炎、周産期心筋症  
で入院されたことのある患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは、日本循環器学会が実施する循環器診療実態調査を用いて、「循環器疾患診療実態調査(JROAD-DPC) 拡充データベースの構築と心疾患における治療薬等の急性期導入の実態および安全性に関する研究」を行っています。

【対象となる方】2012年4月1日～2022年3月31日の間に、日本循環器学会が実施する全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関より登録された方のうち、心不全、急性冠症候群、心房細動、心筋炎、周産期心筋症で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査(JROAD-DPC) 拡充データベースの構築と心疾患における治療薬等の急性期導入の実態および安全性に関する研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター  
情報利用促進部 上級研究員 金岡 幸嗣朗

【研究の目的・意義】

我が国における心血管疾患入院患者は高齢化とともに増加傾向にあります。一方で、心疾患に対する入院中の薬物治療の実態に関する全国的なデータを用いた解析はこれまで少ないのが現状です。この研究は、DPCという診療報酬情報を用いて、我が国における心疾患における急性期治療の実態を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に薬剤の有効性・安全性評価に繋がることが期待されます。

【情報の提供元】 一般社団法人日本循環器学会 責任者：平田 健一

【利用する診療情報等】

参加施設から日本循環器学会循環器疾患実態調査へ提供された以下の情報  
施設 ID、入院年月日、性別、退院年月日、退院先、退院時転帰、身長、体重、要介護度、低栄養の有無、摂食・嚥下機能障害の有無、主傷病名、入院契機傷病名、入院時併存症、続発症、手術、手術日、持参薬使用状況、入院時 ADL スコア、退院時 ADL スコア、入・退棟時 FIM、退院時 modified Rankin Scale、NYHA 心機能分類、入院時死亡、医療費、年齢、チャールソンスコア、入院・外来の治療内容

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

この研究は、当院のみで行う研究です。

【研究期間】 研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター  
情報利用促進部 上級研究員 金岡 幸嗣朗  
電話：06-6170-1070